

須崎くろしお病院

田村 精平



はじめに

当院の所在する須崎市は、県都高知市の西方30km、高知県のほぼ中央に位置し、人口約26,000人の市です。市の西部を流れる清流新莊川では、1979年に日本で最後にニホンカワウソが目撃されております。また市の南東部には風光明媚な横浪三里の入江があり、その南岸はリアス式海岸で絶壁洗う太平洋の眺望は最高です。産業は、第一次産業が主要産業であり、漁業では沿岸漁業と養殖が盛んであり、農業ではハウス栽培が盛んで中でもミョウガは全国一の販売高を誇っております。須崎市の食文化の一つ「鍋焼きラーメン」は是非一度ご賞味の価値があります。

当院の診療対象地域は須崎市の他、中土佐町、津野町、梶原町などで対象人口は合計約45,000人です。この地域は、少子高齢化が進み、高齢化率は30%を超しております。このため、入院・外来ともに殆どが高齢者で、90歳以上の患者さんは珍しくありません。市民病院のない当市では市民の病院を自負し、救急を主

体に地域医療に寄与拡充し現在に至っております。

沿革

- 昭和60年11月 須崎くろしお病院（許可病床50床）開院
高幡医療圏（当時9市町村、現在5市町）ではじめての救急病院
- 昭和62年10月 増築増床（許可病床110床）
- 平成2年5月 医療法人五月会改組
- 平成12年4月 新病棟完成（許可病床164床）健診センター開設
- 平成13年4月 財団法人医療機能評価機構認定 Ver. 3
- 平成14年1月 病床区分届出 一般病床164床
- 平成15年5月 回復期リハビリテーション病棟（43床）施設基準取得
- 平成16年4月 総合リハビリテーション施設 施設基準取得

平成18年5月 財団法人医療機能評価機構認定更新 Ver. 5

平成19年7月 病床区分変更届出
一般病床118床 療養病床42床
（回復期リハビリテーション病棟）

平成19年11月 緩和ケア病棟（10床）施設基準取得

病院概要

病院理念

信頼 協調 奉仕

基本方針

1. 地域の一般病院として休日・夜間を問わず24時間（二次救急）体制で救急医療を提供します。
2. 十分な説明と同意（インフォームドコンセント）を心掛け患者さまの権利を守り尊重する医療を提供します。
3. 常に向上心を持って、研修・教育を行い患者さまの安全を第一に考えた医療を提供します。
4. 医療・保健・福祉の連携を密にして早期社会復帰のできる医療を提供します。
5. 地域に根ざした医療活動を行い地域の財産であることを自覚し健全経営を目指します。

施設概要

診療科目：内科，外科，整形外科，脳神経外科，眼科，耳鼻咽喉科，泌尿器科，皮膚科，神経内科，胃腸科，循環器科，肛門科，放射線科，リハビリテーション科，麻酔科

病床数：一般病床118床（うち緩和ケア病棟10床，亜急性期病床11床），療養病床42床（回復

期リハビリテーション病棟)

職員数：総数225人 医師15名(常勤医師13名, 非常勤医師20名常勤換算後2名), 看護職員110名, PT・OT・ST 24名, 医療技術者22名, その他54名

委託業者：給食15名, 医療事務18名, 清掃7名

医療設備

X線テレビ, CT スキャン (マルチスライス8列), MRI (オープンタイプ0.2テスラ), 超音波断層撮影装置 (カラードップラー), 連続血管撮影装置 (DSA), 電子内視鏡

年間手術件数及び内視鏡検査数及び患者数を下記に記載します。

診療実績

平成19年度

手術件数419件 (内全麻221件)

上部内視鏡検査1,016件, 下部内視鏡検査363件, 外来患者数1日平均250人, 入院患者数1日平均134人, 救急搬入件数930件 (うち入院扱い490人)

関連施設

介護老人保健施設 暖流

入所定員72人, 通所定員40人
グループホーム むっく須崎

定員18名 (2ユニット)

訪問看護ステーション すさき

居宅介護支援事業所 くろしお
病後児保育所 スマイルハウス

病院現況

内科の分野では, 一般内科はもちろんです, 循環器, 消化器内科を中心としており特に炎症性腸疾患として肝炎において IF 療法を実施しております。外科の分野では, 虫垂炎や痔核, 鼠径ヘルニア (メッシュ

プラグ法)などの小手術だけでなく, 胃癌・大腸癌の手術も行っており, また, 腹腔鏡下大腸摘出術, 腹腔鏡下胆のう摘出術も積極的に行っております。整形外科の分野では, 骨折など外傷患者さんが多いですが, 脊椎の手術や人工関節置換術も行っております。脳神経外科の分野では, 慢性硬膜下血腫などを行っております。眼科の分野では, 水晶体再建術 (超音波白内障手術・眼内レンズ挿入術), 網膜・虹彩光凝固術等を行っております。

入院医療は, 上記記述手術患者さまや救急医療が必要な患者さまの一般病棟と亜急性期病床, 回復期リハ病棟そして平成19年11月より緩和ケア病棟を提供しております。

予防医療にも力を入れており, 平成13年4月より新館4階に専用フロアを設け, 政府管掌保険生活習慣病予防健診施設の指定も受け, その他人間ドックや一般健診を実施し, 疾病の予防と早期診断・治療を実現するため専門の医療スタッフが対応しております。

また, 地域住民の方々を対象に, 当院会議室にて年6回「くろしお健康塾」と題して当院スタッフが最新の医療・保健・福祉の情報を提供しております。

今後の展望

須崎くろしお病院は昭和60年に救急医療からスタートし, 「救急からリハビリまで」そして「老人介護と在宅支援」さらに「疾病予防」そして「緩和ケア」へと事業展開して参りました。今後も, 救急を中心に地域医療に邁進することに尽きますが, 当節, やはり医師不足の影響は多大であり, 当院にとって喫緊の課題となっております。

今後は更に医療機能の明確化・機能分化・連携・情報開示・IT の活用の推進にどう対応していくかが重要となってきます。

医療機能の明確化・機能分化・連携においては, ガン・脳卒中・心筋梗塞・糖尿病の4疾病について重要になってきます。特に緩和ケアにおいては開設したばかりですので, ソフト面を高め, 質の向上充実を図りたいと考えます。また回復期リハも有しておりますので, 高次の急性期病院と連携を取り, 特に術後のリハビリ, 早期リハビリに力を入れるため, そして在宅への展開を図っていくため更なるセラピストの質の充実をも行っていくつもりです。

情報開示・IT の活用の推進に関しては, 外来部門の電子カルテシステムは, 平成14年2月より稼動しておりますが, レセコンとともに, 更新の時期がもうそろそろとなっております。頭の痛いところです。

また, 四国自動車道が平成23年には隣りの中土佐町まで延伸します。須崎市まで延伸した際も患者さまの流れが変わりましたが, これを機に更なる変わるのでと思います。

このような状況の中, 公的病院のない高幡医療圏の中核的な病院として自負し, これからも地域に根ざし, 開かれた患者さまから選ばれる病院として, そして利用者さまから選ばれる関連の老健施設・GH・訪看 St として理念である信頼・協調・奉仕の精神の元に, 更なる質の向上を目指し, 職員の教育・研修に取り組み患者さま利用者さまへのサービス向上に努めたいと考えます。

平成20年5月受理
〒785-8501 高知県須崎市緑町4番30号
電話：0889-43-2121 FAX：0889-42-1582
e-mail:satukikai@sea.scatv.ne.jp
<http://www4.ocn.ne.jp/~kuroshio/>